

白石夏まつりについて

菊地 忠久



祭りを目指していきたい。

〔質問〕本年の白石夏まつりの感想を伺う。

〔答弁〕〔市長〕パレードがなかったのは残念だが、パレードだけが夏まつりではない。

夏まつりを継続したい、新たな形を模索していきたいという市民の思いが、今年の夏まつりになったと感じている。

〔質問〕来年度以降の白石夏まつりをどう考えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市の夏には欠かすことのできない大切なお祭りであると考えている。

実行委員会の組織体制により、行政主導ではなく市民の皆さまとともに作り上げていくお

〔質問〕実行委員会をやらず、既存の団体が年間行事の二環で行うことは可能か。

〔答弁〕〔市長〕既存の団体からの声があれば、ぜひお聞きしたい。積極的に手を挙げていただければ、それに越したことはない。

その中に市民を巻き込んで実行委員会が作られれば、より多くの声が反映できるお祭りになるのではないかと、積極的に関わってくださる団体や企業、市民に期待したい。

◎全国学力テストの結果について

〔質問〕平成31年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて感想を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小学校

においては、改善の兆が見られたものの課題は残っている。

中学校においては、依然として全国県平均との乖離が見られるということを大変重く受け止めている。

〔質問〕課題を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小学校での家庭学習の習慣が身につかないことが、引き続きで中学校にも影響しているのではないかと考えている。

量と質が全国平均と大きく差があるため、家庭学習の改善にも今更以上に取り組んでいく必要がある。

中学校の数学、国語において、勉強が好きか、授業が楽しいかという設問に対し肯定的な答えが多いことから、授業改善の取り組みによる改善の余地はあると考えている。

〔その他の質問〕

◎行政手続きのオンライン化について

◎風疹感染予防について

白石市第二幼稚園の休園について

高橋 鈍斎



申し上げた。

また、決定というのは、正確に申し上げると教育委員会としての案を決定したということである。

〔質問〕夏休み中の保護者全員が出席できない状況で、なぜ説明会を開催したのか。

〔答弁〕〔教育長〕できるだけ早期に説明を行いたいと考え、8月20日、21日に開催した。

夏休みだから出席できないということがないよう配慮し、第一幼稚園では63名中53名に出席いただいている。

〔質問〕第一幼稚園はほぼ全員、第二幼稚園は大体半分の出席と聞いている。休園は決定事項と聞くが、そのいきさつを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕唐突感があつたことについては、説明会でもおわびを

〔質問〕保護者に対して、

これは休園であり、やめるわけではない旨の話はしたのか。

〔答弁〕〔教育長〕やめる、いわゆる「廃園」という言葉は一度も使ってはいない。

また、時期の問題で大変多くの意見があり、令和2年3月末から1年、休園の時期を延ばすよう変更した。

〔質問〕休園後は他の施設として使うのか。

〔答弁〕〔教育長〕休園は法律上、他の施設への転用はできず、再開の余地を残している。

〔質問〕職員に対して事前の話し合いはあったのか。

〔答弁〕〔教育長〕園長とは昨年度から話し合いを行ない、それ以外の職員には、案が固まった本年7月に説明している。

〔質問〕待機児童の対応について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕現在、両幼稚園に待機児童はおらず、入園可能となっている。